

ストレッチャーの足折れによる頭部側落下防止板の考案

名古屋市消防局（愛知） **竹下 清二**
種本 肇
武石 泰典

- ① ストレッチャー引き出し時、地形、ヒューマンエラーなどの状況によって足折れが発生し、頭部側が落下する危険があった。

【写真1】【写真2】

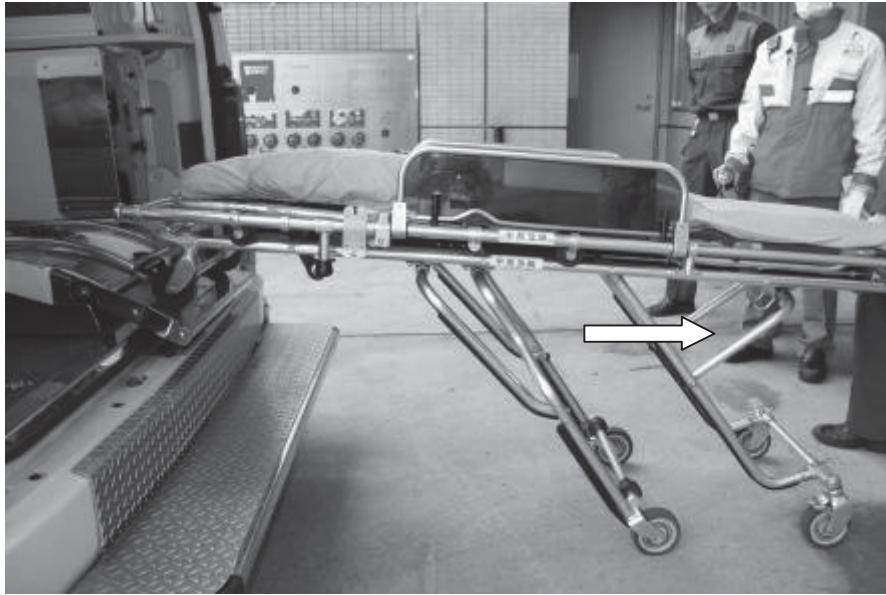
- ② このような事故を防止するために救急車の防振架台（デルタツーリング社 メディックマスター NA-2）のガイドスロープ部分に三角形の金属板を設置した。

【写真3】【写真4】【写真6】

- ③ ストレッチャーのトランスポーター（ファーノ社 エクスチェンジストレッチャー）引き出し時にガイドスロープ上を転がるローディングホイールのタイヤ軸が一定の高さ以下になった場合、金属板と接触し軸が止まるよう改良をした。これによって、足折れによるストレッチャー頭部側の落下を期待できると考えられる。

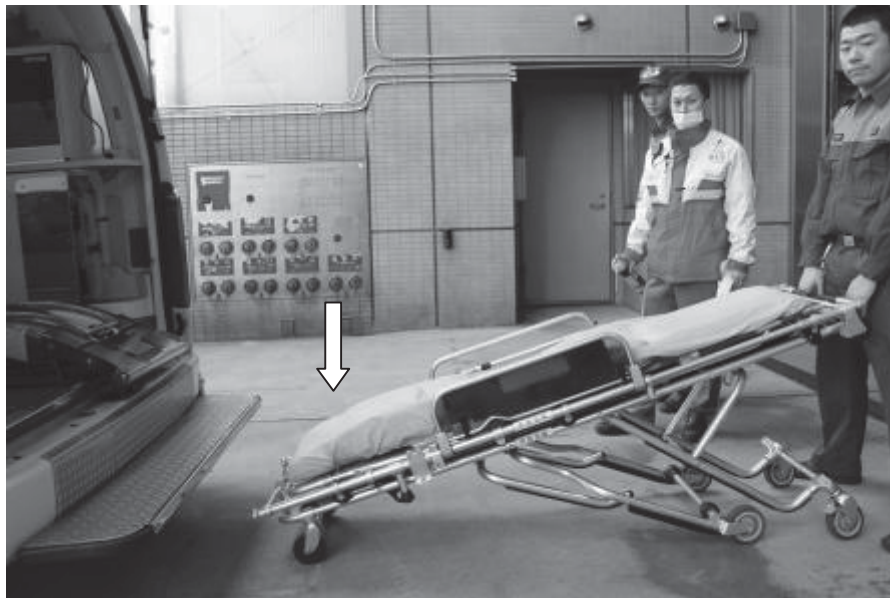
【写真5】【写真7】【写真8】

【写真1】



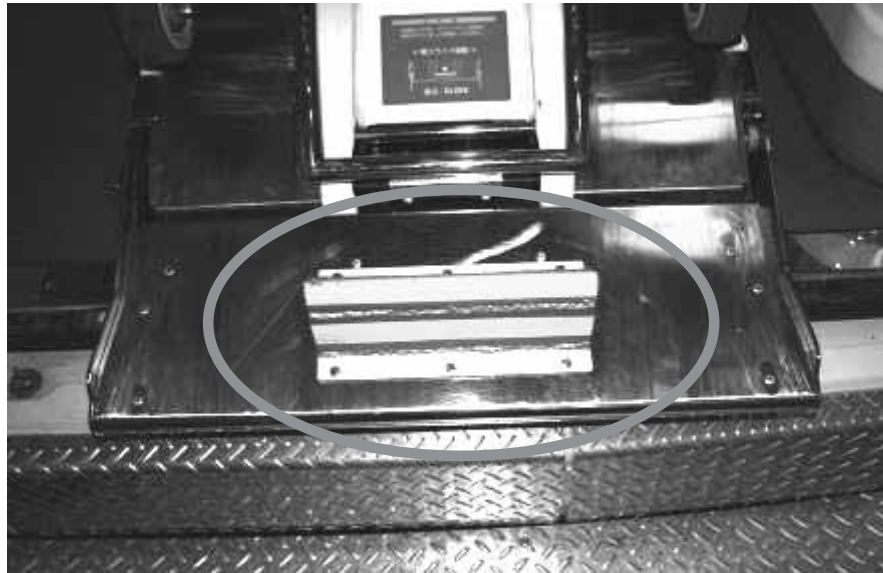
- ① ストレッチャー引き出し時、地形、ヒューマンエラーなどの状況によって足折れが発生。

【写真2】



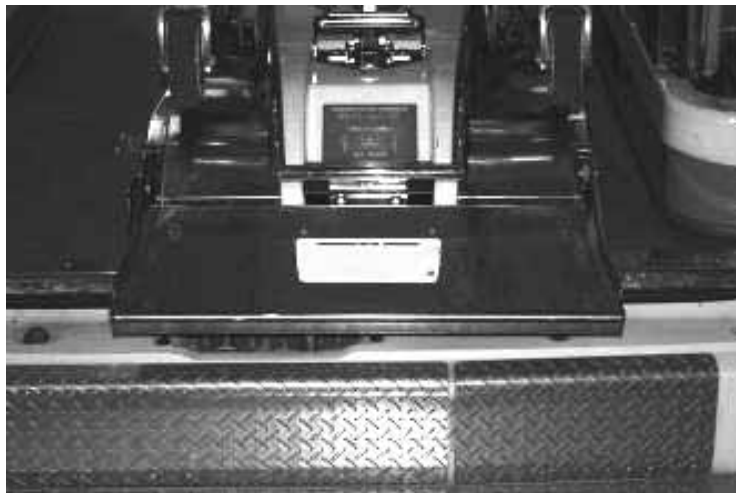
- ② 頭部側よりストレッチャーが落下し事故につながる。

【写真 3】



③ 防振架台ガイドスロープ部分に三角形のプレートを形状・大きさを工夫し取り付けました。

【写真 4】



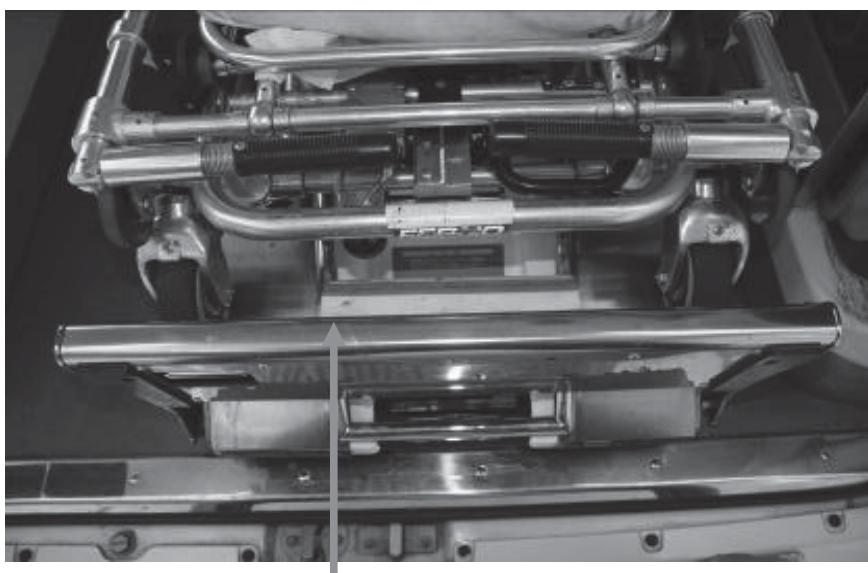
④ 通常の状態（対策前）のガイドスロープ。

【写真5】



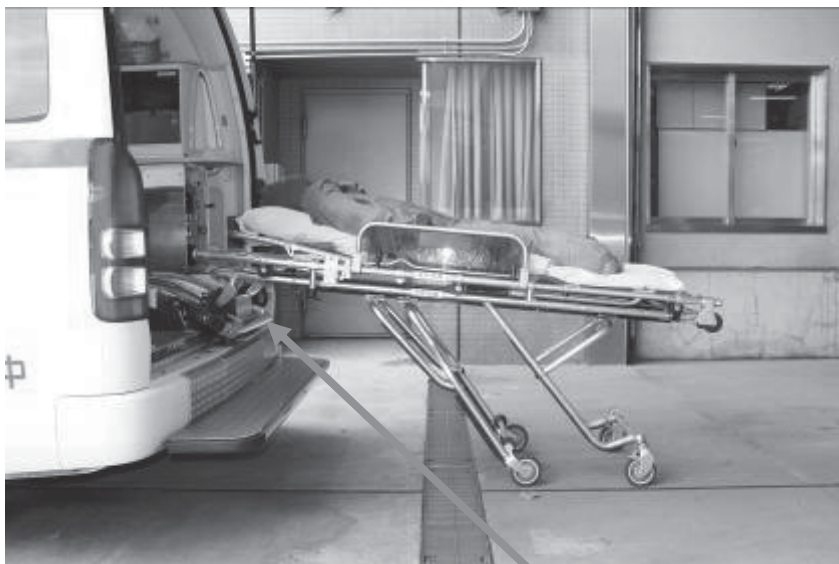
- ⑤ ストレッチャーのタイヤ軸が一定の高さ以下になった場合に、金属板により落下を防止する。

【写真6】



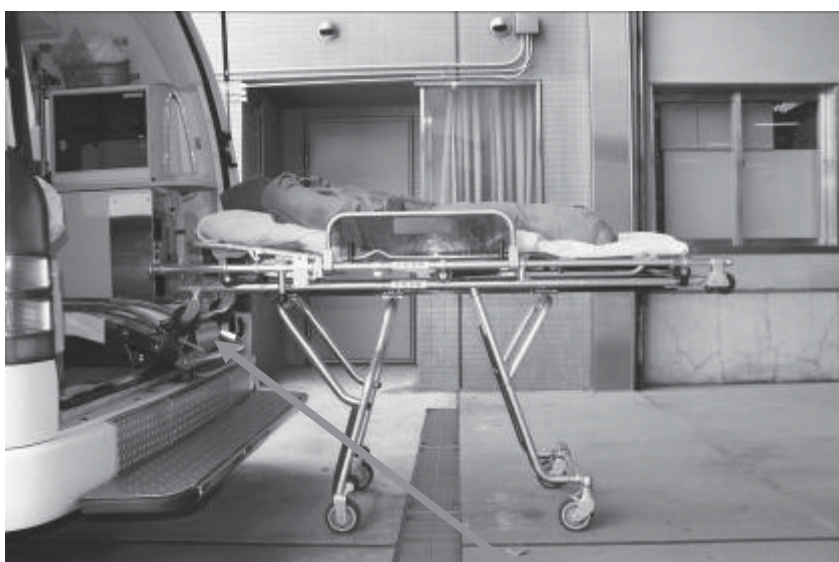
- ⑥ 収納状況。他の機器に干渉していない。

【写真7】



⑦ 万が一、脚折れが発生してもストレッチャーの落下を防止できる。

【写真8】



⑧ 通常の使用については、ストレッチャーのタイヤ軸がプレート高さより高いのでプレートにタイヤ軸が接触せず、スムーズに出し入れが可能である。